

食べること・話すこと…どちらも基盤にあるのは『呼吸』です。

言語聴覚士だからこそ、呼吸へのアプローチは必要不可欠です！

日々の臨床の中で、こんな患者さんいますよね？

- 呼吸機能が低下している
- 声量が低下している
- 声質が変わってしまった
- 咳嗽力が弱い

すべて ST として、見過ごせない症状ですが、これらの症状は全て呼吸が関連しています。

基礎工事がしっかり出来ていない建物は脆いものだと思いますか？

人の身体も一緒に、しっかりと呼吸できる身体を作らなければ、その後に行く、発声や嚥下にいくらアプローチしても効率的ではありません。

- ・患者さんの身体の状態を評価せずに、ただ発声練習だけしていませんか？
- ・嚙声を改善したいのに上手くいかない…とアプローチに悩んでいませんか？
- ・声が出にくい患者さんに音読練習のみで終わっていませんか？
- ・どの患者さんにも同じアプローチをしていませんか？

このセミナーでは、言語聴覚士だからこそ、呼吸へのアプローチが重要であること、またどのようにアプローチするかをお伝えします。

《セミナー内容》

- 呼吸・発声に必要な筋・骨格の解剖おさらい
- STが行う呼吸・発声アプローチについて
- 症例(動画での説明)
- 徒手療法や身体の使い方について～実技練習～

※受講者の方々に合わせて実技内容は変更する事があります。

言語聴覚士が言語聴覚士の臨床に必要な呼吸・発声の知識・テクニックをお伝えします。